

2026年5月29日  
東京藝術大学**東京藝大×JR東日本 上野駅ギャラリー「CREATIVE HUB UENO "es"」  
資延美葵個展「うえのうえの、まとまのま」開催のお知らせ**

CREATIVE HUB UENO "es" では、資延美葵個展「うえのうえの、まとまのま」を、2026年6月9日（火）～7月12日（日）まで開催いたします。

本展では音や言葉といった不可視の現象を、線や形態として空間に表現します。

日常生活の音や会話を起点に、一定の手続きを通しながら記述方法を探り、知覚だけでは捉えることができない要素の視覚化を試みます。

作品は立体、平面、ブック形式を含む空間として構成します。

**<開催概要>**

- 展示会名：資延美葵個展「うえのうえの、まとまのま」
- 会期：2026年6月9日（火）～7月12日（日）
- 休場：月曜定休（祝日の場合は翌日に振替）
- 時間：11:00～19:00（最終入場18:45）
- 入場料：無料
- ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>
- 会場：CREATIVE HUB UENO "es" 東京都台東区上野7-1-1（上野駅浅草口付近）

**□推薦コメント**

資延美葵は、音や言葉を意味回収から遠ざけ、知覚だけでは捉えきれない世界の層へと導いてゆく。そこで見えてくるのは、世界は固定された意味体系によって成り立っているのではなく、感覚、記憶、身体、そして他者との関係のなかで、常に流動的であり続けるという認識である。私たちの対話もまた、複数の感覚と時間が交差するなかで、無意識のうちに造形的プロセスをたどっていることに気づかされるのである。

東京藝術大学美術学部デザイン科 教授 松下 計

【このプレスリリースのお問合せ】東京藝術大学芸術未来研究場アート×ビジネス領域

□作品ジャンル

---

インスタレーション

□主な展示作品

---

『音をなぞる』2024、ミクストメディア

■出展者プロフィール

---



資延美葵（しのぶ みき）

経歴

会話や音といった不可視の現象を扱い、知覚と表象の関係を探る。作品は立体、平面、ブック形式を横断する空間的表現による。

第10回東京藝術大学平成藝術賞受賞。

2026年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程デザイン専攻修了。

同大学美術学部デザイン科テクニカルインストラクター。

主な展示歴

2024年 個展「Between the lines」The blank gallery、東京

2025年 個展「空中一中空」Kameido art center、東京

個展「a breath」百年、東京

■過去作品

---



「Landscape of dialogue」2026、ミクストメディア、サイズ可変



「String and knots,Ojika Island」2025、ミクストメディア、サイズ可変

---

【このプレスリリースのお問合せ】東京藝術大学芸術未来研究場アート×ビジネス領域